

POINT 1

POINT 2

POINT 3

POINT 1

●通信制の大学院

インターネットを活用し、いつでも世界中のどこからでも大学院の学びに参加することができます。各国の開発現場で働く社会人にとって学びやすい大学院です。

大学院生用のホームページには、科目ごとのディスカッションを行う科目掲示板、論文指導を行う掲示板、特定テーマについて自由な意見交換を行うフォーラム掲示板、院生相互の自由な交流の場としての掲示板のほか、院生と指導教員とのメーリングリストなどを設け、日常的な学習および研究を進められるようになっています。近年は、zoom 等も活用しています。さらに、研究指導や論文執筆指導においては面談も重視しており、名古屋キャンパスや東京サテライト、あるいは教員の出張先などで適宜、個別対面指導やリサーチ指導を実施しています。

POINT 2

●「海外開発実践」への単位認定と国際的なスクーリング

本研究科は、海外の開発経験をお持ちの方を歓迎しており、「海外開発実践」に対する単位認定制度を設けています。また、4ヵ国の国内外スクーリング科目を開講しています。フィリピン、インド、マダガスカル（オンライン）、そして、日本において、開発分野の第一線にある研究者らがコーディネートするプログラムを実施しています。海外スクーリングでは5日間（マダガスカルや日本は4日間）にわたり、基礎的講義、都市・農村のフィールドワーク、多様な事例を研究するケーススタディ、ディスカッションを積み重ねています。合わせて、参加院生に対して、個別研究テーマに応じた論文指導をゼミ形式で行います。

POINT 3

●豊かな人的ネットワークの広がり

本研究科には多様な背景を持つ異なる世代の社会人が入学しています。例えば、国際機関や NGO、JICA 海外協力隊など世界各地の開発現場で活躍する人、また、国内外にわたり企業活動、医療や福祉、教育、行政といった分野に従事する人、あるいは、開発教育に携わる人、そして、これからそうした職業をめざす人たちです。オンライン上でのやりとりやスクーリングを通じて、あるいは、対面の場や会合において、院生同士、そして、教員や修了生ともつながりを持つこととなります。相互の活動交流・情報交流が良い刺激となるばかりでなく、研究の発展やキャリア開発に結びつくことも少なくありません。専門分野・ジェンダー・年齢を越えた豊かな連帯とネットワークが本研究科の大きな特長です。